



表彰状

2009年廣井賞(社会的功績分野)

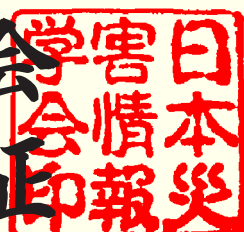
ビジュアル版幸せ運ぼう制作委員会殿

あなた方が報道映像や記事をもとに制作した防災教材は、阪神・淡路大震災を体験していない今の子どもたちにはもちろん、後々に語り継ぎ、震災体験を風化させないためにも、大変役立つものと期待されています。これは行政と大学、それに報道機関が力を合わせて初めて実現したものであり、さらに、成果の教材を全国の教育現場に無償で配布するなど、普及活動に発展させていることは、災害情報分野での顕著な功績であると認められます。

よってここに、あなた方つまり、神戸市、神戸市教育委員会、神戸大学、読賣テレビ放送(株)、(株)読売新聞大阪本社からなる制作委員会に、日本災害情報学会2009年廣井賞(社会的功績分野)を授与し、その栄誉を称えます

2009年10月25日

日本災害情報学会
会長 阿部 勝 征





表彰状

2009年廣井賞(社会的功績分野)

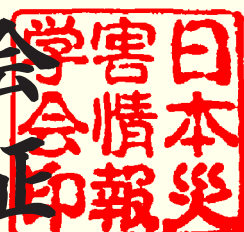
マスメディアと研究者のための
地震災害に関する懇話会 殿

中京圏の報道関係者、研究者、防災行政担当者
などが災害時の適切な情報発信を目指して結集した
あなた方の懇話会は、定期的な勉強会を通じて互いの
信頼関係を築き、災害情報全般に対するよりよい理解と
円滑なコミュニケーションづくりを進めてきました。そして、
そこで培われた組織を超えた協力関係は、先進的な
防災情報共有プラットフォームの実現にもつながるなど、
災害情報分野での顕著な功績と認められます。

よってここにあなた方の懇話会に、日本災害情報学会
2009年廣井賞(社会的功績分野)を授与し、その
栄誉を称えます

2009年10月25日

日本災害情報学会
会長 阿部 勝 征





表彰状

2009年廣井賞(学術的功績分野)

静岡大学防災総合センター

准教授 牛山素行 殿

あなたは、災害情報を用いた風水害の被害軽減に関する実証的研究に、これまで一貫して取り組んでこられました。そして、現実的課題として、情報システムが整備されていてもそれだけでは活用が進まないこと、地域のハザードマップや防災ワークショップなどによるリスク認知にも難しさがあること、またソフト対策による犠牲者軽減効果の客観的検証など、災害情報分野の研究において顕著な功績をあげられました。よって、ここに日本災害情報学会2009年廣井賞(学術的功績分野)を授与し、その栄誉を称えます。

2009年10月25日

日本災害情報学会
会長 阿部 勝 征

